



鹿児島市立図書館

28年 1月号

平成28年1月8日発行  
鴨池2丁目31-18

099-250-8500

<http://lib.kagoshima-city.jp>

# 図書館通信特別号

## 新年のあいさつ

鹿児島市立図書館長 齊之平 智

新年、あけましておめでとうございます。旧年中は図書館をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。本年も、これまで以上にご利用いただきますよう、よろしくお願いいたします。

さて、現在図書館では、「鹿児島市立図書館基本的運営方針（素案）」のパブリックコメントを実施しております。ご承知のように、開館以来「だれでも気軽に利用できる開かれた図書館」を目指して図書館運営を行ってきておりますが、今後は、これまで以上に図書館を利用しやすい環境に整えるため、基本的運営方針として「市民が利用しやすい図書館」、「市民に役立つ図書館」、「市民と協働し学びを支える図書館」の3つを基本目標とし、さらにそれぞれの基本目標ごとにあわせて12の重点施策を定めており、3月までにはパブリックコメントの意見を集約して取りまとめ、策定することとしております。

市立図書館は、鹿児島市制100周年記念事業の一つとして科学館とともに平成2年に開館してから四半世紀の25年目の節目を迎え、現在、25周年記念の展示を1月17日まで行っております。ぜひ、足を運んでいただき、25年間の歩みをひと目ご覧下さい。図書館の蔵書冊数も、開館当時は15万6千冊でしたが、現在では52万6千冊になっており、これもひとえに市民の皆様のご理解、ご協力をいただいた賜物と思っております。

図書館といたしましても、蔵書の充実を図るとともに、よりよい読書環境を創造するために、市民の皆様のご協力をいただきながら、レイアウトや図書資料の配置など配慮しながら検討しなければならないと思っております。

今後とも、職員一同一丸となって、サービスの向上に努めてまいりますので、図書館のご利用をよろしくお願いいたしますとともに、ご来館を心からお待ちしております。



## よりよい図書館を目指して

(株)図書館流通センター 鹿児島市立図書館 統括責任者 谷口 豊

弊社、図書館流通センターが平成26年6月にカウンター業務の委託をさせていただいてから、1年7ヶ月が過ぎました。また、平成27年につきましては、世界遺産登録された明治日本の産業革命遺産パネル展示や調べる学習講座、開館25周年記念イベント等の行事も行わせていただきました。これらの業務を滞りなく行うことができたのは、利用者の皆様のご声援、ご協力をいただけたからだと思っております。改めまして、心から感謝を申し上げます。

そのほか、「夜のおはなし会」や「工作教室」等にも多くの利用者の方にご参加をいただき、皆様に喜んでいただくことができました。

年が明け、平成28年となり、昨年以上に皆様に楽しんでいただけるよう、また、鹿児島市の発展に貢献できるよう努力してまいります。皆様のご来館を心よりお待ちしております。

# 平成27年のニュース



## 25周年記念セシモニー



昨年12月13日、鹿児島市立図書館は、開館25周年記念セシモニーを行いました。当日は、8時30分の開館に先立ち、くす玉を割って25周年を祝いました。また、新しいコアラのキャラクターも発表されました。セシモニーには、桜島フェリーのマスコットキャラクターサクラエンジェルも駆けつけ華を添えてくれました。



【25周年を祝う手作りくす玉】

大型しかけ絵本や開館当時の新聞や図書は、「市立図書館開館25周年企画・展示」として1月17日（日）まで正面玄関脇の展示コーナーに展示しています。



## 学校図書館支援図書

平成27年9月から、学校図書館支援図書の運用を始めました。市内の各小・中学校の読書活動と調べ学習に役立つ図書を重点的に収集し、子どもたちの読書環境の充実を図ろうとするものです。現在約800冊の蔵書があります。市内の学校に勤務する先生、図書館司書の皆様「学校図書館支援図書」をぜひ活用してみてください。



【学校図書館支援図書】



## 夏休み小中学生

## 「図書館アドベンチャー」初開催

昨年夏休みに小・中学生を対象に、普段見られない図書館の裏側を探検する「図書館アドベンチャー」を初めて開催しました。

また、図書館の裏側で探し当てた「自分が生まれた日の新聞」をもとに「My（マイ）誕生日新聞」を作りました。子どもたちは初めて見る図書館の裏側に、歓声をあげるとともに、自分が生まれた日の新聞を見ながら、その日に何が起こったかを興味深く調べていました。



【図書館内を探検する探検隊】

# 基本的運営方針について

～パブリックコメント実施中！！～

市立図書館は、開館以来、誰でも気軽に利用できる開かれた図書館を目指して運営を行ってきており、これまで多くの市民の皆様にご利用いただいていたところです。

近年、急速なグローバル化や情報技術の発展、少子高齢化の進展などにより図書館を取り巻く環境も大きく変化し、それに伴い図書館にも新しい役割が求められています。

市立図書館では、このような動向を踏まえ、現在、図書館の目指すべき目標と今後の取組みの方向性を示す「基本的運営方針」の策定に取り組んでおり、1月25日までパブリックコメントを実施しています。

みなさんのご意見を参考にさせていただきながら、策定を進めてまいりたいと考えておりますので、多くのご意見をお寄せください。なお、意見等の提出方法については、市立図書館ホームページをご覧ください。



## 申年生まれの作家たち展

新春恒例の、その年生まれの作家たち展ですが今年は「申年（さるどし）生まれの作家」の作品を展示します。

代表的な申年生まれ作家として、次のような方々がいます。

- 〈明治29年生〉 宮沢賢治
- 〈大正9年生〉 安岡章太郎
- 〈昭和7年生〉 平岩弓枝 五木寛之
- 〈昭和19年生〉 椎名誠



もちろん、他にも多く申年生まれ作家がいますが、いずれも、作家・児童文学者として著名な方ばかりです。今まで出会わなかった新たな作家・作品との出会いがあるかもしれません。この機会に手に取られてはいかかがでしょうか。♪

## コラレ 万巻読破 (まんがんどくは)

図書館員が受付カウンターでどんな仕事をしているか、ご存知ですか？

受付カウンターでは、主に本の貸出・返却、予約本やリクエストされた新刊書の手配、連絡などの仕事をしています。

ほかに皆さんが探している本のお手伝いをすることがあります。

以前、「おすすめの本を教えてください。」と尋ねられたことがありました。その方とお話しながら、数点紹介させていただきました。

「ありがとう。」と笑顔で言われて、全部借りていかれたとき、私はこの仕事にとってもやりがいを感じました。

本を通して皆さんとつながった瞬間に、なんともいえない充実感を感じながら、今日も図書館へ向かいます。

## 図書館からのお知らせ

### 【その1】

#### 空調設備工事・外壁改修工事について

工事の施工に伴う、騒音や振動、暖房の一部停止により、利用者の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

空調設備工事 ～平成28年2月26日まで

外壁改修工事 ～平成28年3月18日まで

### 【その2】

#### 特別整理休館のお知らせ

**1月18日（月）～1月29日（金）**

は蔵書点検のため市立図書館と公民館図書室は休館します。図書の返却はブックポストをご利用ください。

## 2016 今後の行事予定

月	日	曜	行 事 名
2	18	木	図書館講座
	27	土	楽しい親子読書教室
3	5	土	がらがらどんおたんじょう会
4	16	土	りとるコアラまつり
5	14	土	家族ふれあい読み聞かせ教室
6	1	水	自分史づくり講座スタート(全5回)
	8	水	親子読書グループ等研修会
	19	日	読書感想文講座スタート(全5回)
	25	土	楽しい親子読書教室
	25	土	キッズプラネタリウム
7	2	土	がらがらどん七夕まつり
	7	木	図書館講座
	16	土	高校生ビブリオバトル
	23	土	図書館フェスタ
8	3	水	移動図書館おはなし会
	13	土	平和の祈りおはなし会
9	17	土	図書館講座
10	22	土	さつまっ子読書バトル
			さつまっ子読書まつり
11	12	土	図書館講座
12	24	土	がらがらどんクリスマス会

## データで見る鹿児島市立図書館

蔵書冊数	一般書 約 39 万 6 千冊
	児童書 約 13 万冊
	<b>合計 約 52 万 6 千冊</b>
音楽・映像資料	約 8 千点
録音図書	約 2 千点
年間入館者数	約 62 万 8 千人(1日約 2100 人)
年間貸出冊数	約 89 万 4 千冊(1日約 3000 冊)
インターネット予約	約 7 万 5 千件
	(平成 27 年 3 月現在)

## 2015 年間貸出ランキング トップ10

第 1 位	祈りの幕が下りる時	東野圭吾	講談社
第 2 位	虚ろな十字架	東野圭吾	光文社
第 3 位	銀翼のイカロス	池井戸潤	ガクヤン
第 4 位	村上海賊の娘(上)	和田 竜	新潮社
第 5 位	村上海賊の娘(下)	和田 竜	新潮社
第 6 位	キャロリング	有川 浩	幻冬舎
第 7 位	夢幻花	東野圭吾	PHP 研究所
第 8 位	明日の子供たち	有川 浩	幻冬舎
第 9 位	豆の上で眠る	湊かなえ	新潮社
第 10 位	物語のおわり	湊かなえ	朝日新聞出版



## 図書館職員おすすめの新しい本

『ラストピース —J2降格から三冠達成を果たしたガンバ大阪の軌跡—』  
下 蘭 昌記 著  
KADOKAWA  
(783.4/シ)

鹿実出身の遠藤選手や岩下選手の所属するガンバ大阪。2013シーズンJ2降格後翌年J1に昇格し、チームとして初の三冠達成を果たした。密着取材によりその現場で起きていたことが明らかに。

『明治・金色キタン』  
畠中 恵 著  
朝日新聞出版  
(F/ハタ)

「明治・妖モダン」シリーズ第2弾。明治20年代、銀座の派出所に勤める巡查二人とそこに出入りする仲間たちが、周囲で起こる不思議な事件を解決します。時代背景もしっかりしており、推理とファンタジーの両方が楽しめます。

『ネンリズム  
/開かれた食器棚』  
山崎 ナオコーラ 著  
河出書房新社  
(F/ヤマ)

「おばあさん」になりたい自称68歳の村崎さん、未来でなく「今」を生きたい紫さん。「徐々に」年をとりたいたスカート男子加藤くん。お年寄りばかりの編み物クラブに通う、高校3年生の冬物語。「時間の重ね方」って何だろうと思わせる一冊です。